

飛驒高山ドキュメンタリー映像祭特別イベント

映像からふるさとを再発見

3月6～7日 / 市民文化会館で開催



飛驒高山ドキュメンタリー映像祭は、昭和63年に「飛驒高山ビデオ映像祭」としてスタート。昨年で20回の開催を数え、これまでに全国から2482編の作品が寄せられました。

今回開催する特別イベントでは、過去に大賞を受賞した作品の上映や、ゲストの方々によるトークショーも開催します。

また、2日目は、全国の大学生や専門学校生が制作した映像の上映や表彰を行うとともに、37年前アジアで初めて開催された冬季五輪のドキュメンタリー映画「札幌オリンピック」の上映も行います。



篠田正浩さん



藤井知昭さん



大石芳野さん



中島誠之助さん



純名りささん

《3月6日(金)》

▽第一部 映像祭大賞作品のダイジェスト上映(午後6時40分)

▽第二部 フォーラム「映像によるふるさと再発見」(午後7時30分)「コーディネート加賀美幸子(元NHKアナウンサー)・出演者 篠田正浩(映画監督)・早稲田大学特命教授、藤井知昭(国立民族学博物館名誉教授)、大石芳野(写真家)、中島誠之助(古美術鑑定家)、純名りさ(女優・歌手)

※このフォーラムの様子は、後日NHKで放送される予定です。

《3月7日(土)》
▽第一部 学生たちの映像

フェスティバル(午前10時30分) 審査員 篠田正浩、藤井知昭、大石芳野、純名りさ、河渡正暁(高山市代表)

▽第二部 映画上映会「札幌オリンピック」(午後1時30分)

場所 市民文化会館大ホール(昭和町1)

参加料 無料(整理券が必要)

申込方法 2月2日(月)から

観光課、支所基盤産業課、市民文化会館、地場産業振興センター、NHK高山支局、飛驒高山クアールPで配布

問合せ先

観光課
☎35-3145

地域の子育てにあなたのチカラを

乳幼児親子を対象とした遊び、交流の場として高山市が設置している「つどいの広場」などで活動していただく「高山市子育てコーディネーター」の平成21年度の新規募集を行います。

団塊の世代の方や、これまで子育て支援を受けていた方に、今度は、子育てを支援する側に立って活動いただける機会としても大いに期待しています。

申込方法 子育て支援課、各支所地域振興課に設置する申込用紙を記入し、2月20日(金)までに提出

※主な活動内容や活動エリアなどの聞き取りを行い、登録者を決定します。

※政治的・宗教的活動、営利目的であると認められる場合は、選考の対象外となります。

問合せ先

子育て支援課
☎35-3140



丹生川子ども館の様子

対象 必要な資格は特にありません。子どもが大好きで、子育て支援に熱意がある方であれば充分です。

●子育てコーディネーターとは?

主に市内11ヶ所の「つどいの広場」で、気軽に集まって、情報交換や仲間づくり、悩み相談などが行えるよう雰囲気づくりをしてくれる方。

地域社会みんなで子育てを支えあうよう、「身近な相談相手」としての役割も期待しています。

平成19年度24名でスタートした子育てコーディネーターの登録者は、平成20年度32名に増え、年間約600回の活動を予定しています。